



5年生は、現在、社会科で「情報を生かす産業」の学習を進めています。2月5日には、セブン-イレブンの方をお招きし、店舗ではどのように情報が活用されているのかについてお話を伺いました。発注する商品の個数や種類を決める際には、その日の天気や気温、周辺で行われるイベントなどの情報を収集し、仮説を立てることが大切だとお話しされていました。子どもたちは、新商品の開発やAIの活用など、さまざまな場面で情報が生かされていることを知り、興味深く聞き入っていました。また、多くの情報をもとに、「自分が店長ならどのおにぎりを何個発注するか」という設定で、発注数や種類を考える活動にも取り組みました。